

Disinfectant

# Antec™ Virkon™ S アンテックビルコン S

動物用医薬品

畜舎・鶏舎用消毒薬

家畜伝染病予防法指定消毒薬成分含有製剤

DISTRIBUTED BY

Elanco



LANXESS

57788392/VirkS/1kg/Elanco,Japan/13.0622/Z

動物用医薬品	承認指令書番号	2動薬第2504号
畜舎・鶏舎用消毒薬	販売開始	1996年10月

家畜伝染病予防法指定消毒薬成分含有製剤

2021年11月改訂

貯法 室温保存

アンテックビルコン S

## 【成分及び分量】

品名	アンテック ビルコンS
有効成分	ペルオキソ―硫酸水素カリウム及び塩化ナトリウム
含量	100g中に、ペルオキソ―硫酸水素カリウム50.0g及び塩化ナトリウム1.5gを含有する

## 【効能又は効果】

- I. 畜産領域  
(1) 畜鶏舎の消毒  
(2) 搾乳器具・ふ卵器具の消毒  
(3) 踏込槽での消毒
- II. 小動物診療領域 診療施設内の消毒

## 【用法及び用量】

本品を下記の下記の希釈倍率となるよう水又は微温湯にて溶かし散布、浸漬又は使用する。

- I. 畜産領域  
1. 畜・鶏舎の消毒：  
100～500倍希釈液を床面又は壁に適量散布する。  
(有効塩素量で表した酸化力0.1～0.02%)  
※ただし、500倍よりも高濃度で使用する場合は家畜及び家禽をオールアウトした後に実施すること。
2. 効果が認められるウイルス類を対象とした畜・鶏舎の消毒：  
100～2000倍希釈液を床面又は壁に適量散布する。  
(有効塩素量で表した酸化力0.1～0.005%)  
※ただし、500倍よりも高濃度で使用する場合は家畜及び家禽をオールアウトした後に実施すること。
3. 搾乳器具・ふ卵器具の消毒：  
1000倍希釈液に2～5分間浸漬する。  
(有効塩素量で表した酸化力0.01%)
4. 踏込槽での消毒：  
100倍希釈液を使用し、薬液の更新は1週毎又はひどく汚れた時とする。  
(有効塩素量で表した酸化力0.1%)

## II. 小動物診療領域

診療施設内の消毒：  
100倍希釈液を診察台、手術台、床又はケージに適量を散布する。  
(有効塩素量で表した酸化力0.1%)

## 【使用上の注意】

(基本的事項)

### 1. 守らなければならないこと

- (一般的注意)
- 本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用するこ。
  - 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
  - 本品の希釈液は直接畜・鶏体に散布しないこと。
  - 本品の希釈液は直接小動物の身体に散布しないこと。
- (使用者に対する注意)
- 原末及び希釈液が、皮膚、眼、飲食物、飼料、被服、小児のおもちゃ等に直接かからないように注意すること。万一、皮膚や眼に付着した場合にはよく洗うこと。
  - 本品又は本品の希釈液を取り扱う場合には、ゴム手袋等を装着すること。
  - 散布中にはマスク等をして本剤を吸い込まないように注意すること。
- (取扱い及び廃棄に関する注意)
- 本品は石灰などのアルカリ性物質との混合、併用を避けること。アルカリ性洗剤を使用した時は十分水洗した後、本品を使用すること。
  - 有機物質等（糞、尿等の汚物、血液、血清、牛乳等）は、本剤の消毒効果を減弱させるので、水で十分に清拭又は洗浄して有機物質等を除去してから使用すること。
  - 希釈液は、使用の都度調製すること。

- 希釈液を調製する場合は、次のことに注意すること。  
ア. 鉄、亜鉛、ブキ等の金属器具を腐食させることがあるので、プラスチック製又はステンレス製の容器などで調製すること。
  - イ. 調製に使用する容器は予め十分に水洗しておくこと。
  - 他の殺虫剤や消毒剤と混用しないこと。
  - 搾乳器具は、消毒後、水で十分に洗浄し、牛乳中に薬剤が混入しないようにすること。
  - 本品がこぼれた場合には大量の水で洗い流すこと。本品を火中に投入などしないこと。
  - 大量の薬液が、活性汚泥法による污水处理施設等に流入しないようにすること。
  - 小児の手の届かない乾燥した暗所に保管すること。
  - 使用後は常にふたをしめること。
  - 使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
  - 本剤又は本剤の希釈液を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- 踏込槽での使用方法
- 本剤は有機物等（糞、尿等の汚物、血液、血清、牛乳等）により消毒効果が減弱するので、長靴をよく洗浄し、有機物を落としてから、踏込槽内に入ること。
  - 汚染した長靴は、消毒槽内で30秒間洗浄することが望ましい。

## 小動物診療領域での使用方法

- 本剤の希釈液が医療機器等にかからないよう注意すること。

- 本剤の希釈液を閉鎖空間で散布する場合は、使用者及びペットに対する塩素の影響を考慮して、換気に注意して使用すること。
- 本剤は塩素を含有する物質と混合すると塩素ガスが発生する危険性があるため、塩素系の漂白剤、洗剤・洗浄剤等と混合して使用しないこと。
- 本剤は有機物等（糞、尿等の汚物等）により消毒効果が減弱するので、それらを布等で拭き取った後に、適切な噴霧又は散布器具等を用いて適量を散布すること。

## 2. 使用に際して気を付けること

- (使用者に対する注意)
- 原末及び希釈液を誤食・誤飲しないよう注意すること。
  - 本剤を誤飲した場合は、吐かずに、直ちに医師の診察を受けること。
  - アレルギー体質等で、発赤、掻痒感等の過敏症状が現われた場合には直ちに使用を中止すること。

【製品情報お問い合わせ先】  
エランコジャパン株式会社  
〒107-0052 東京都港区赤坂四丁目15番1号  
お問い合わせ先メールアドレス：marketing\_jip@elanco.co.jp

【製造販売元(輸入販売元)】

エランコジャパン株式会社

〒107-0052  
東京都港区赤坂四丁目15番1号

Emergency telephone  
+6531638374  
mention CCN1001750

【製造元】  
Antec International Limited  
Windham Road  
Chilton Industrial Estate  
Sudbury  
Suffolk CO10 2XD UK.  
Tel: +44 (0) 1787 377305  
Tel: +44 (0) 1787 310846

獣医師、薬剤師等の医療関係者は、本剤による副作用などによると思われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 ([https://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/in\\_dex.html](https://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/in_dex.html)) にも報告をお願いします。

皮膚刺激。重篤な眼の損傷。  
水生生物に毒性。  
長期継続的影響によって水生生物に有害。

取扱い後は皮膚をよく洗うこと。環境への放出を避けること。  
保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。

皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。  
皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 残余内容物、容器等は産業廃棄物として適正に廃棄すること。

消防法：非該当



承認指令書番号	2動薬第2504号
販売開始	1996年10月

## 動物用医薬品

### 畜舎・鶏舎用消毒薬

家畜伝染病予防法指定消毒薬成分含有製剤

# アンテックビルコンS

2021年11月改訂

貯法	室温保存
----	------

#### 【成分及び分量】

品名	アンテック ビルコンS
有効成分	ペルオキソ-硫酸水素カリウム及び塩化ナトリウム
含量	100g中に、ペルオキソ-硫酸水素カリウム50.0g及び塩化ナトリウム1.5gを含有する

#### 【効能又は効果】

- I. 畜産領域
  - (1) 畜・鶏舎の消毒
  - (2) 搾乳器具・ふ卵器具の消毒
  - (3) 踏込槽での消毒
- II. 小動物診療領域
  - 診療施設内の消毒

#### 【用法及び用量】

本品を下記の希釈倍率となるよう水又は微温湯にて溶かし散布、浸漬又は使用する。

- I. 畜産領域
  1. 畜鶏舎の消毒  
100～500倍希釈液を床面又は壁に適量散布する。  
(有効塩素量で表した酸化力0.1～0.02%)  
※ ただし、500倍よりも高濃度で使用する場合は家畜及び家禽をオールアウトした後に実施すること。
  2. 効果が認められるウイルス類を対象とした畜・鶏舎の消毒：  
100～2000倍希釈液を床面又は壁に適量散布する。  
(有効塩素量で表した酸化力0.1～0.005%)  
※ ただし、500倍よりも高濃度で使用する場合は家畜及び家禽をオールアウトした後に実施すること。
  3. 搾乳器具・ふ卵器具の消毒：  
1000倍希釈液に2～5分間浸漬する。  
(有効塩素量で表した酸化力0.01%)
  4. 踏込槽での消毒：  
100倍希釈液を使用し、薬液の更新は1週毎又はひどく汚れた時とする。  
(有効塩素量で表した酸化力0.1%)
- II. 小動物診療領域
  - 診療施設内の消毒：  
100倍希釈液を診察台、手術台、床又はケージに適量を散布する。  
(有効塩素量で表した酸化力0.1%)

#### 【使用上の注意】

##### (基本的事項)

##### 1. 守らなければならないこと

###### (一般的注意)

- 本剤は効能・効果において定められた目的のみに使用すること。
- 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- 本品の希釈液は直接畜・動物に散布しないこと。
- 本品の希釈液は直接小動物の身体に散布しないこと。(使用者に対する注意)
- 原末及び希釈液が、皮膚、眼、飲食物、飼料、被服、小児のおもちゃ等に直接からないように注意すること。
- 万一、皮膚や目に付着した場合にはよく洗うこと。

- 本品又は本品の希釈液を取り扱う場合には、ゴム手袋等を装着すること。
- 散布中にはマスク等をして本剤を吸い込まないように注意すること。

###### (取扱及び廃棄に関する注意)

- 本品は石灰などのアルカリ性物質との混合、併用を避けること。アルカリ性洗剤を使用した時は十分水洗した後、本品を使用すること。
- 有機物質等（糞、尿等の汚物、血液、血清、牛乳等）は、本剤の消毒効果を減弱させるので、水で十分に清拭又は洗浄して有機物質等を除去してから使用すること。

- 希釈液は、使用の都度調整すること。
- 希釈液を調整する場合は、次のことに注意すること。  
ア. 鉄、亜鉛、ブリン等の金属器具を腐食させることがあるので、プラスチック製又はステンレス製の容器などで調整すること。
- イ. 調整に使用する容器は予め十分に水洗しておくこと。
- 他の殺虫剤や消毒剤と混用しないこと。
- 搾乳器具は、消毒後、水で十分に洗浄し、牛乳中に薬剤が混入しないようにすること。
- 本品がこぼれた場合には大量の水で洗い流すこと。
- 本品を火中に投入しないこと。
- 大量の薬液が、活性汚泥法による污水处理施設等に流入しないようにすること。
- 小児の手の届かない乾燥した暗所に保管すること。
- 使用後は常にふたをしめること。
- 使用済みの容器は、地方公共団体条例等に準じ処分すること。
- 本剤又は本剤の希釈液を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に準じ処分すること。

##### 踏込槽での使用方法

- 本剤は有機物等（糞、尿等の汚物、血液、血清、牛乳等）により消毒効果が減弱するので、長靴をよく洗浄し、有機物を落としてから、踏込槽内に入ること。
- 汚染した長靴は、消毒槽内で30秒間洗浄することが望ましい。

##### 小動物診療領域での使用方法

- 本剤の希釈液が医療機器等にかからないよう注意すること。
- 本剤の希釈液を閉鎖空間で散布する場合は、使用者及びペットに対する塩素の影響を考慮して、換気に注意して使用すること。
- 本剤は塩素を含有する物質と混合すると塩素ガスが発生する危険性があるため、塩素系の漂白剤、洗剤・洗浄剤等と混合して使用しないこと。
- 本剤は有機物等（糞、尿等の汚物等）により消毒効果が減弱するので、それらを布等で拭き取った後に、適切な噴霧又は散布器具等を用いて適量を散布すること。

##### 2. 使用に際して気を付けること

###### (使用者に対する注意)

- 原末及び希釈液を誤食・誤飲しないよう注意すること。
- 本剤を誤飲した場合は、吐かずに、直ちに医師の診察を受けること。
- アレルギー体質等で、発赤、掻痒感等の過敏症状が現われた場合には直ちに使用を中止すること。

#### 【製品情報お問い合わせ先】

エランコジャパン株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂四丁目15番1号

お問い合わせ先メールアドレス：marketing\_jp@elancoah.com

#### 【製造販売元(輸入販売元)】

### エランコジャパン株式会社

〒107-0052

東京都港区赤坂四丁目15番1号

#### 【製造元】

Antec International Limited  
Windham Road  
Chilton Industrial Estate  
Sudbury  
Suffolk CO10 2XD UK.  
Tel: +44 (0) 1787 377305  
Tel: +44 (0) 1787 310846

#### Emergency telephone

+6531638374

mention CCN1001750

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによって発症する疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所(<https://www.maff.go.jp/nval/ikyakutou/fukusayo/sousa/index.html>)にも報告をお願いします。



2021年11月改訂

貯法	室温保存
----	------

動物用医薬品
--------

畜舎・鶏舎用消毒薬
-----------

家畜伝染病予防法指定消毒薬成分含有製剤

# アンテック ヒルコン S

## 【成分及び分量】

品名	アンテック ヒルコンS
有効成分	ペルオキソー硫酸水素カリウム及び塩化ナトリウム
含量	100g中に、ペルオキソー硫酸水素カリウム50.0g及び塩化ナトリウム1.5gを含有する

## 【効能又は効果】

- Ⅰ. 畜産領域
  - (1) 畜鶏舎の消毒
  - (2) 搾乳器具・ふ卵器具の消毒
  - (3) 踏込槽での消毒
- Ⅱ. 小動物診療領域 診療施設内の消毒

## 【用法及び用量】

本品を下記の希釈倍率となるよう水又は微温湯にて溶かし散布、浸漬又は使用する。

- Ⅰ. 畜産領域
  1. 畜・鶏舎の消毒：  
100～500倍希釈液を床面又は壁に適量散布する。  
(有効塩素量で表した酸化力0.1～0.02%)  
※ ただし、500倍よりも高濃度で使用する場合は家畜及び家禽をオールアウトした後実施すること。
  2. 効果が認められるウイルス類を対象とした畜・鶏舎の消毒：  
100～2000倍希釈液を床面又は壁に適量散布する。  
(有効塩素量で表した酸化力0.1～0.005%)  
※ ただし、500倍よりも高濃度で使用する場合は家畜及び家禽をオールアウトした後実施すること。
  3. 搾乳器具・ふ卵器具の消毒：  
1000倍希釈液に2～5分間浸漬する。  
(有効塩素量で表した酸化力0.01%)
  4. 踏込槽での消毒：  
100倍希釈液を使用し、薬液の更新は1週毎又はひどく汚れた時とする。  
(有効塩素量で表した酸化力0.1%)

## Ⅱ. 小動物診療領域

診療施設内の消毒：  
100倍希釈液を診察台、手術台、床又はケージに適量を散布する。  
(有効塩素量で表した酸化力0.1%)

## 【使用上の注意】

(基本的事項)

### 1. 守らなければならないこと

(一般的注意)

- 本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用する。
- 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- 本品の希釈液は直接畜・鶏体に散布しないこと。
- 本品の希釈液は直接小動物の身体に散布しないこと。  
(使用者に対する注意)
- 本来及び希釈液が、皮膚、眼、飲食物、飼料、被服、小児のおもちゃ等に直接かからないように注意すること。
- 万一、皮膚や眼に付着した場合にはよく洗うこと。
- 本品又は本品の希釈液を取り扱う場合には、ゴム手袋等を装着すること。
- 散布中にはマスク等をして本剤を吸い込まないように注意すること。

(取扱及び廃棄に関する注意)

- 本品は石灰などのアルカリ性物質との混合、併用を避けること。
- アルカリ性洗剤を使用した時は十分水洗した後、本品を使用すること。
- 有機物質等（糞、尿等の汚物、血液、血清、牛乳等）は、本剤の消毒効果を減弱させるので、水で十分に清拭又は洗浄して有機物質等を除去してから使用すること。
- 希釈液は、使用の都度調製すること。
- 希釈液を調製する場合は、次のことに注意すること。
- ア、鉄、亜鉛、ブリキ等の金属器具を腐食させることがあるので、プラスチック製又はステンレス製の容器などで調整すること。
- イ、調製に使用する容器は予め十分に水洗しておくこと。
- 他の殺虫剤や消毒剤と混用しないこと。
- 搾乳器具は、消毒後、水で十分に洗浄し、牛乳中に薬剤が混入しないようにすること。
- 本品がこぼれた場合には大量の水で洗い流すこと。本品を火中に投入などしないこと。
- 大量の薬液が、活性汚泥法による污水处理施設等に流入しないようにすること。
- 小児の手の届かない乾燥した暗所に保管すること。
- 使用後は常にふたをしめること。

- 使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- 本剤又は本剤の希釈液を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- 踏込槽での使用方法  
● 本剤は有機物等（糞、尿等の汚物、血液、血清、牛乳等）により消毒効果が減弱するので、長靴をよく洗浄し、有機物を落としてから、踏込槽に入る。
- 汚染した長靴は、消毒槽内で30秒間洗浄することが望ましい。

小動物診療領域での使用方法

- 本剤の希釈液が医療機器等にかからないよう注意すること。
  - 本剤の希釈液を閉鎖空間で散布する場合は、使用者及びベットに対する塩素の影響を考慮して、換気に注意して使用すること。
  - 本剤は塩素を含有する物質と混合すると塩素ガスが発生する危険性があるため、塩素系の漂白剤、洗剤・洗浄剤等と混合して使用しないこと。
  - 本剤は有機物等（糞、尿等の汚物等）により消毒効果が減弱するので、それらを布等で拭き取った後に、適切な噴霧又は散布器具等を用いて適量を散布すること。
- ### 2. 使用に際して気を付けること
- (使用者に対する注意)
- 本来及び希釈液を誤食・誤飲しないよう注意すること。
  - 本剤を誤飲した場合は、吐かずに、直ちに医師の診察を受たこと。
  - アレルギー体質等で、発赤、掻痒感等の過敏症状が現われた場合には直ちに使用を中止すること。

【製品情報お問い合わせ先】

エランコジャパン株式会社  
〒107-0052 東京都港区赤坂四丁目15番1号  
お問い合わせ先メールアドレス：marketing\_jp@elancoah.com

【製造販売元(輸入発売元)】


## エランコジャパン株式会社

〒107-0052  
東京都港区赤坂四丁目15番1号

Emergency telephone  
+6531638374 mention  
CCN1001750

【製造元】  
Antec International Limited  
Windham Road Chilton  
Industrial Estate  
Sudbury  
Suffolk CO10 2XD UK.  
Tel: +44 (0) 1787  
377305 Tel: +44 (0)  
1787 310846

57791619/VirkS/10kg/ElancoJapan/13.06.22/Z



危険

皮膚刺激。重篤な眼の損傷。水生生物に毒性。  
長期継続的影響によって水生生物に有害。

取扱い後は皮膚をよく洗うこと。環境への放出を避けること。保護手袋・保護眼鏡・保護面を着用すること。皮膚に付着した場合は、多量の水で洗うこと。  
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用している容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。残余内容物、容器等は産業廃棄物として適正に廃棄すること。

消防腐：非該当

獣医師、薬剤師等の医療関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所  
(<https://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>)にも報告をお願いします。